

令和5年度
尾道市立日比崎小学校
教科担任制推進活動報告

1. 本校の教科担任制の概要

▶▶▶ 本校の教科担任制の概要・・・3教科型 ▶▶▶

▶▶▶ 5・6年生

- ①理科 を 教科担任推進教員
- ②体育科 を 教科担任推進教員
- ③社会科 を 教務主任
- ④音楽科 を 専科 が受け持つ。

▶▶▶ 5年生は さらに、

- ⑤図画工作科 を 5年1組担任
- ⑥家庭科 を 5年2組担任 が受け持つ。

⇒ 高学年 1学級 4～5人の教師から教わる。

▶▶▶ 本校の教科担任制の概要・・・3教科型 ▶▶▶

▶▶▶ 3・4年

- ①理科 を 専科
- ②音楽科 を 専科 が受け持つ。

▶▶▶ 3年生は さらに、

算数科 を 3年1～3組担任 と 教務主任が受け持ち、
習熟度学習を行う。

社会科と体育科、国語科書写、図画工作科を
3年1～3組担任が 教科交換を行う。

⇒ 中学年 1学級 3～5人の教師から教わる。

本校の教科担任制の概要・・・3教科型

➤ 1・2年

①音楽科 を 専科 が受け持つ。

➤ 2年生はさらに、

国語科の単元「お手紙」を 2年1組担任が受け持つ。

体育科・生活科の単元を 2組・3組担任が受け持つ。

➤ 1年生はさらに、

国語科の単元を 1組・2組担任が交換して受け持つ。

⇒ **低学年** 1学級 3～5人の教師から教わる。

本校の教科担任制の概要・・・3教科型

➤ ①**全学級** 3～5人の教師から教わる。

➤ ②ほとんどの学年で教科交換が行われている。

交換する単位は、年間を通じてだけでなく、
学期や単元など、状況に応じて、柔軟に対応している。

本校の教科担任制の概要・・・3教科型

➡③児童アンケート結果・・・

全ての項目で、県全体よりも

本校児童の方が肯定的評価が高い。

(教科担任になって良かったか、授業が楽しみか、
勉強がよくわかるようになったか、
いろんな先生と話す機会が増えたか 等)

2. 本校の取組の成果

評価視点：学習指導の充実、生徒指導の充実

中学校への円滑な接続、働き方改革

成果 1

高学年を中心とした教科担任制による 小・中学校への円滑な接続 及び 教師の負担軽減

高学年を中心とした教科担任制による，学級担任への負担軽減と中学接続の円滑化

①専科の受け持つ学年と時間を各学年に分配。

低・中学年の担任が週に受け持つ時間数が **1 時間減**

高学年の担任が週に受け持つ時間数が **4 時間減**

②学習指導要録や学期末の成績の**所見**を教科担任や専科が補助。

③3～4教科を担当以外の教師が受け持つ。

⇒ **担任以外の教師と関わる機会 増**

担任の持ち時間 減 仕事量 減

高学年を中心とした教科担任制による、学級担任への負担軽減と中学接続の円滑化

④教科担や専科が全校的に各学級のサポートに回ることで学級担任の負担軽減。

高学年の社会科担当教員が、
中学年の習熟度別指導に加わる。



成果 2

教科担任による専門性を生かした
授業の質の向上・多面的な児童理解

教科担任による専門性を生かした 授業の質の向上・多面的な児童理解

①複数学年を担当していること

⇒見方・考え方や 系統性を意識した学習指導の充実。



「理科の考え方」
系統性を意識した理科指導



隣の学級の担任による家庭科指導

教科担任による専門性を生かした 授業の質の向上・多面的な児童理解

②理科室を休憩時間に，児童に開放し，生物の観察・ 標本づくり・追加実験などワークショップや 発展学習を行う。

⇒児童の興味・関心を高め、
学習意欲につながるとともに、
児童にとって教室以外の
居場所となるようにした。

児童が休み時間に作った標本



成果 3

教科担任による複数の視点に基づいた 児童理解の充実

教科担任による複数の視点に基づいた児童理解の充実

①担任と教科担任, 授業交換を行っている
学級担任の3名が児童の様子を交流

⇒ 複数の眼や場面で
児童の実態を把握・共有



教科担任による複数の視点に基づいた児童理解の充実

②教科担任や専科が行事の指導に参加

⇒ 児童と関わる時間が増え、生徒指導と学習指導が充実。

地域行事の指導や修学旅行や宿泊学習の指導に専科や教科担任が加わる。



教科担任による複数の視点に基づいた児童理解の充実

③音楽の専科の教員が主となり，昼休憩の時間を活用して合唱団やマーチングバンドクラブの指導をしている。

⇒音楽が好きな児童の居場所でもあり，児童のスキルアップにつながっている。



3. 本校の課題と対策

評価視点：学習指導の充実，生徒指導の充実

中学校への円滑な接続，働き方改革

課題 1

多面的な児童理解

多面的な児童理解に関して

連携したことが記録に残りにくいので、通知表渡しや懇談で保護者へ連携しにくいときがある。

⇒ 教科担任や専科の学習の様子を、
校内で電子上にデータとして共有することで
連携する時間をとれないときでも、情報共有をするようにした。

校務支援システム上の
児童のエピソードを記入し、
教員が共有できる機能を利用

The screenshot displays a web-based interface for recording and sharing student episodes. It features two main entries for a 5th-grade class (5年1組). Each entry includes a date, a title, and a description. The first entry is dated 2023年10月8日 and mentions a social studies lesson on local fisheries. The second entry is dated 2023年8月29日 and mentions learning about local land. Between the entries, there is a section for '拍手!・コメントする(現在0件)' (Clapping!・Commenting (currently 0 items)), which shows '0人が拍手!しています。' (0 people are clapping!). The interface uses a light blue and white color scheme with horizontal lines separating the data rows.

5年1組	エピソード	1件	コメント	0件
2023年10月8日	日常の様子	社会科「水産業のさかんな地域」の学習では、		
拍手!・コメントする(現在0件)				
0人が拍手!しています。				
5年1組	エピソード	1件	コメント	0件
2023年8月29日	日常の様子	低い土地のくらしで学習したことを生かし、		

課題 2

小・中学校の円滑な接続

小・中学校の円滑な接続

「悩みを相談できる先生が増えました」と答える
児童数を全体的に増やす。

⑥教科担任になって わからないことや 困ったことを相談できる 先生が増えました。		とてもあてはまる	あてはまる
	県全体	31.7%	40.4%
	日比崎小学校	40.9%	36.4%

⇒ 肯定的評価をする児童の割合が**77%**

※他の項目では肯定的評価をした児童の割合は90%

①相談をしやすい雰囲気・関係づくり

②相談できる機会を設ける工夫 を行いたい。

本校の教科担任制の総評

①教科担任による専門性の深化

②担当教科数減による教師負担軽減

③担当教員の増加による多面的な児童理解

④教科担任制による中学校への円滑な接続

今後も継続して、児童の学習・生活の向上に努める。